

入院中の
僕の

アル

を彼女が

ア
ニ
ス
ト
?

き
よ
う
も

い
っ
ぱ
い

出
ま
し
た

ね
え

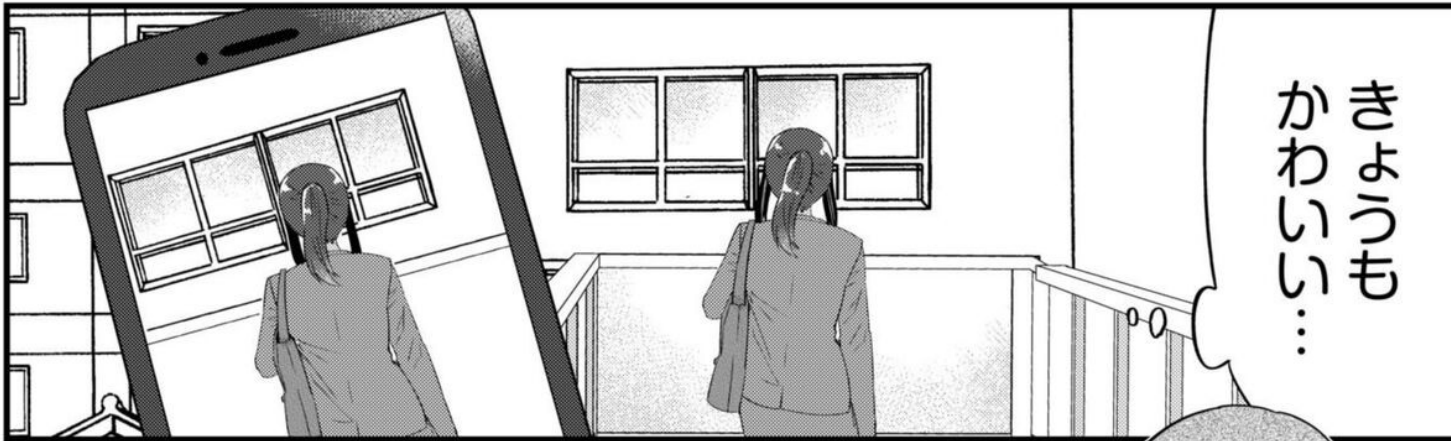
成年
コミック

まあたん

1

アシオナ
NEXT





俺は山口徹
日課は俺の思い人を見守ることだ

保存!

保存中

正直ストーカーっぽいと思わなくないが彼女に危害を加える気は一切ない



以来俺は…

チラッ



彼女との出会いは学生時代のアルバイト先での一目ぼれ

ドキーンッ



運命を確信した
あの日から

彼女 たかしまめぐみ 高島 恵に
片想いをし続けている…



就職先も彼女の
会社の近場に就職し
毎日通勤時間を
共にして彼女を
見守っているのだ



俺は探偵ばりに彼女の
すべてを調べあげ

あそこが家か…

きょりもなにもなく
田舎できょりも
なく

カッ
カッ



!



カッ

君が嫌いな人にならな...



俺が!

カッ



カッ



なんんだ?
なんんだ?

人が落ちてたぞ

大丈夫ですか!?

ドサッ

びびっ
あーあーあー



よかった...
ぶ...じ...



救急車呼んで!

は...す...
う...う...

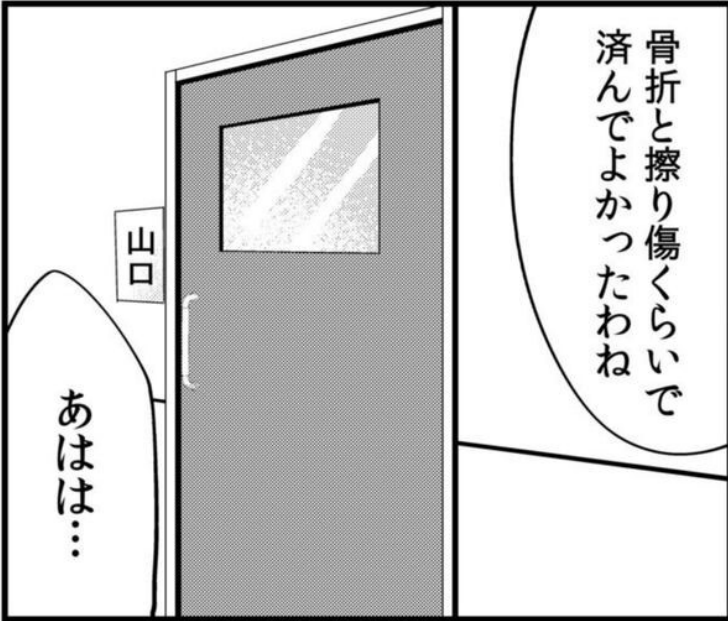


だいじょうぶ
ですか!?

いま救急車
呼びましたから!

びびっ

びびっ



ほーかん

高島恵と申します
お礼に参りました

この度は助けていただき
ありがとうございます

おまじっ

こんなことに
なるなんて！

ドキッ

まさかこんな形で
接触できるとは！

ニニニ

いいえ
そちらもご無事で
よかったです…

骨折されたんですよね？
他はだいじょうぶでしたか？

はいっ
かすり傷と打撲くらいで
命に別状は
ないみたいです

ドキ
ドキ
ドキ

そうですか…



いいえこれくらい
人込みとか
苦手でしょうか？

？



そういえば個室の手配
ありがとうございました

ああ！



…ええ！
でも私が勝手にやっただけ
ですのでお気になさらず

ニッ

すみません
わざわざ…



あははよくご存じですね
母がいつちやいました？

！



それになにかあれば
遠慮なくいつてくださいね
お手伝いしますから！

え？

グッ



ありがとうございます
ございます

いいえ！
これくらいさせて
ください！

それから彼女は
毎日のように
来てくれるようになった

頻繁に來れない母の
かわりに着替えの整理や

買い出しに
差し入れなんかも
してくれて…

あつといつ間に
一週間が過ぎて行った…

でも眺めていただけの
彼女がこんな近くで
見れて世話まで
してもらえるなんて

こんな日々がずっと
続けばいいのに…

こんにちはー

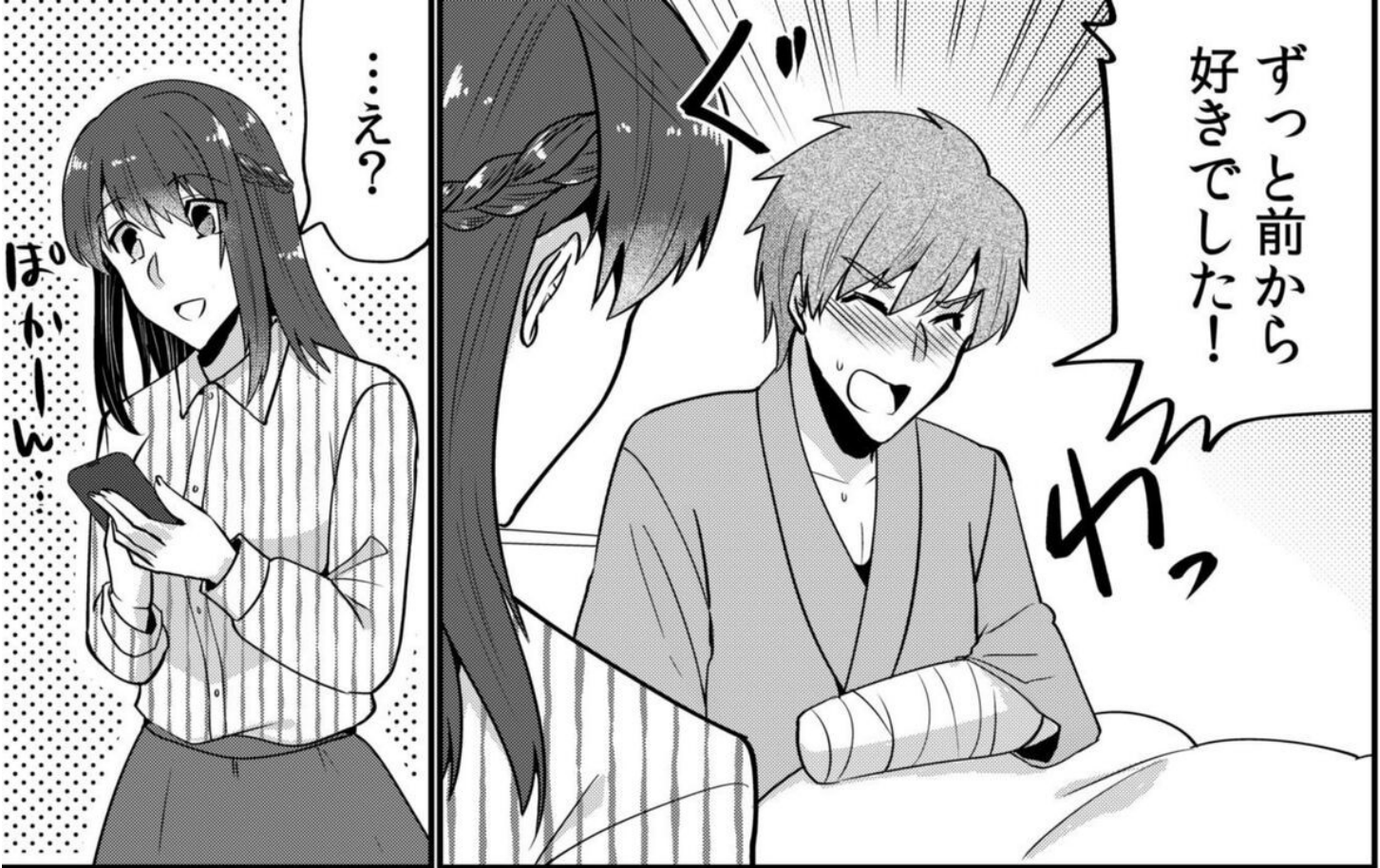
あ!

わあ!

山口さん!?
どうかしましたか!?

ガッ
グッ





ずっと前から
好きでした!

…え?

ほかーん

く

ん
れっ



前に見かけて
一目ぼれでした!

それで撮って
しまつて…

かあ

ドキ
ドキ

あの日も見てたんです
でも階段を落ちそうに
なってるあなたを見て

とっさにかばって
落ちてしまつて
そのあの…



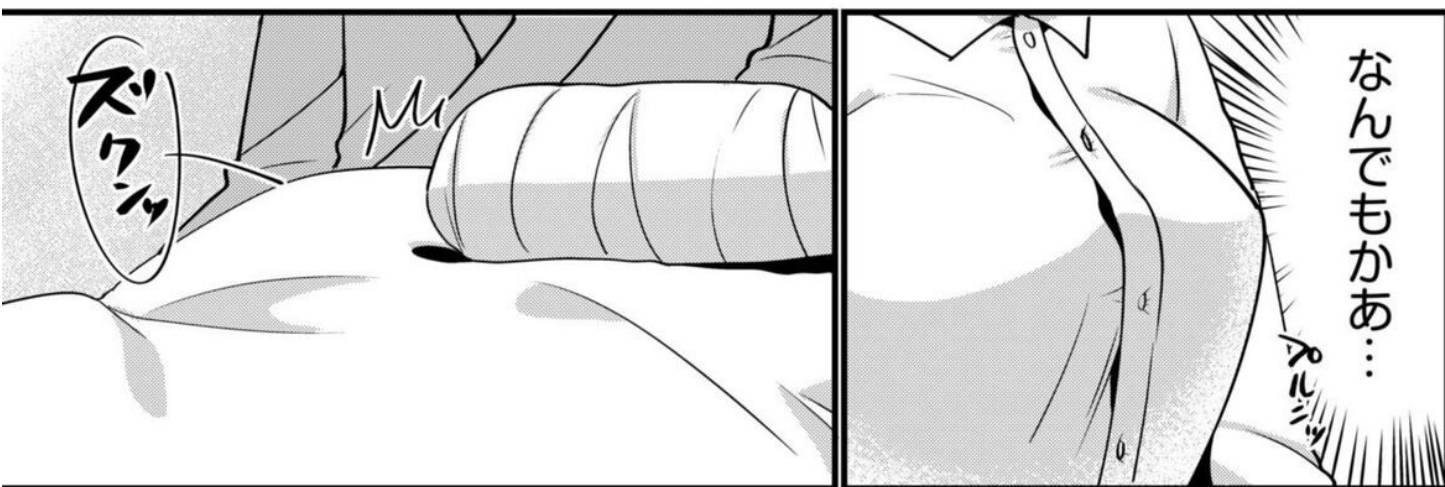
すみません!

うわあああ!
誤魔化そうとしたのに
告白してしまつたあああ!

引かれてる!
もう終わりだ!

えーっと
そうだったんですね…









あの 山口さん...

おま...

はい？

私「なんでもいって欲しい」って
いったことに偽りは
ありません

ゴクリ...



「いま」して欲しいって

ドキ

ありませんか？

ドキ

ドキ

!?



えええええ!?

ドキ

そそんな風に
いわれたら...!

我慢なんて...

ドキ

ななら...!



はーはー
すい〜んごすいすー!



どうですか?



カキキ
クキキ

手伝って
もらえませんか?



くちゅ
くちゅ
女神か…

謝らないで…
頼ってもらえて
私嬉しいです…



すみません…っ

お願いしてしまった!



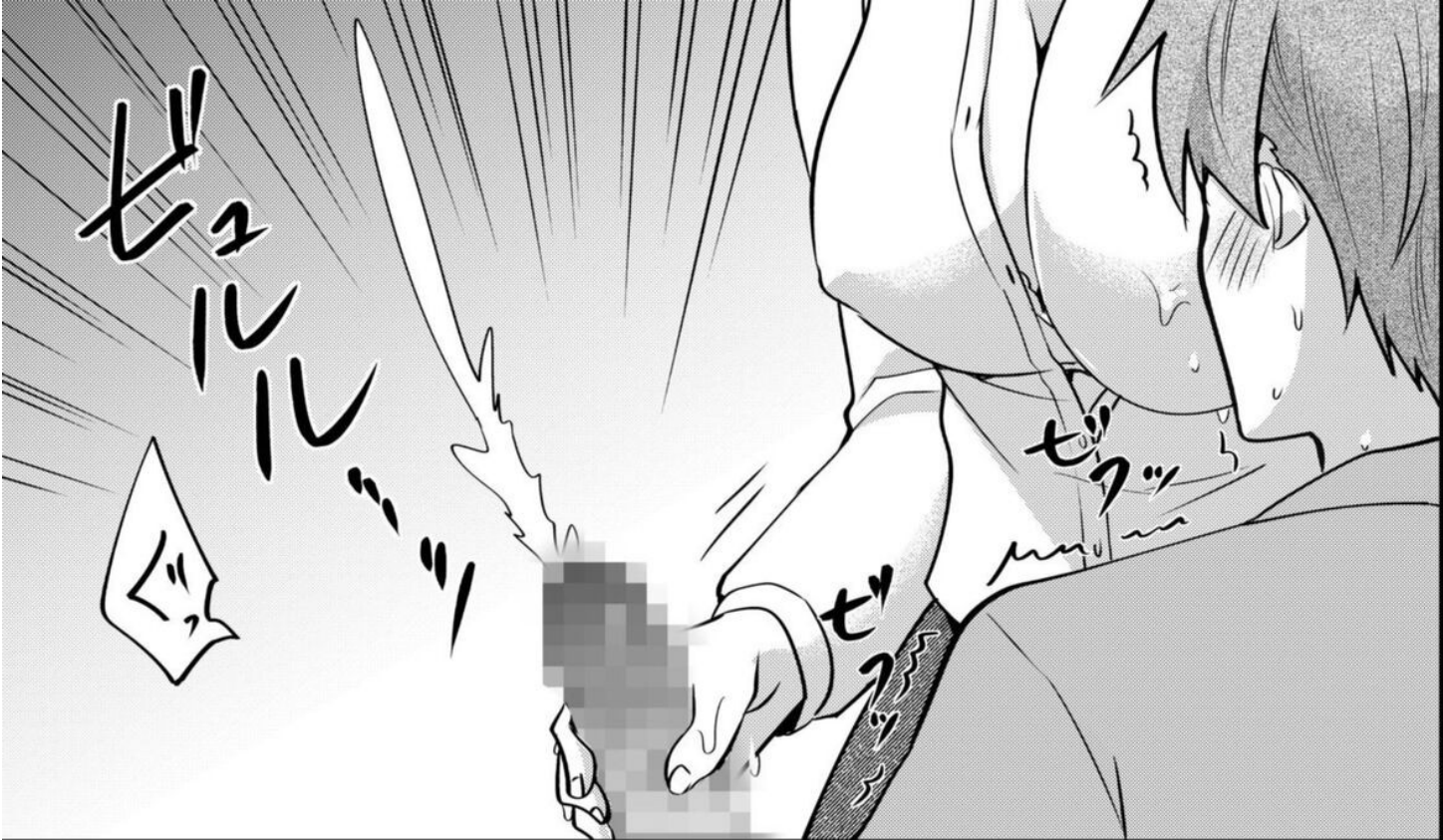
(は) (は)
くちゅ
くちゅ

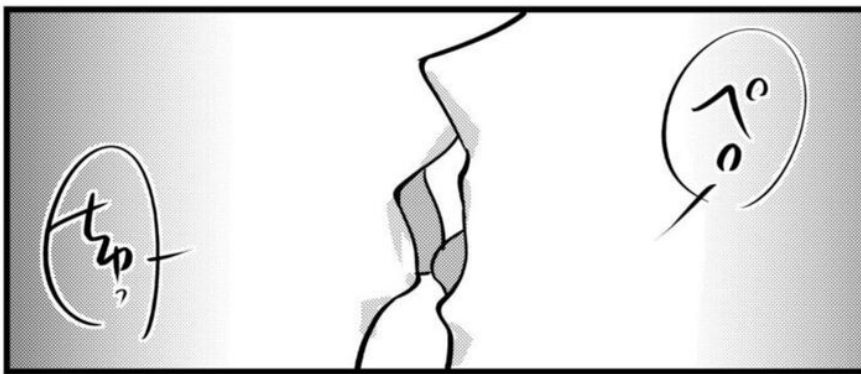
もつと頼って
くださいね…

はい



憧れの彼女に
してもらえる日が
来るなんて…!!







ごめんなさい
つい…
高ぶってしまっ

へ？ いや！
俺の方こそ！



そんなこと…

「なんでも」したいんです
迷惑なんてありませんから



その…

これからは私がお手伝い
しますから



あ！でもご迷惑なら
いいんです！

だけど困ってるなら
遠慮せずいつて
くださいね！

ははあ



私がしたいんです!

だめでしょうか?



でも

付き合ってもいない相手にこんなことをさせるなんて

間違ってる...
いけないことなただけで...



はい!
任せてください!



分かりました...
その お願いします...

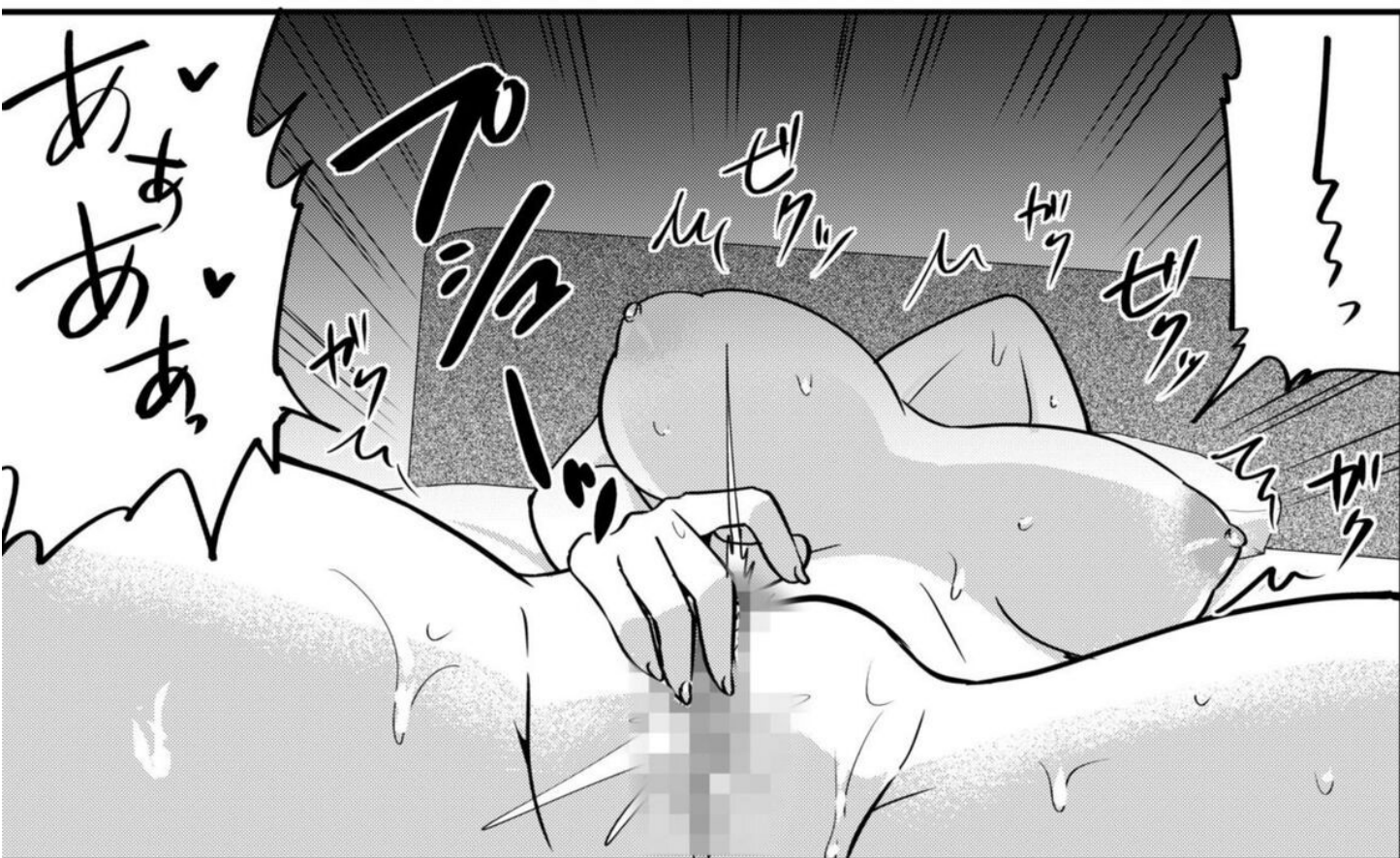
やっぱり欲望では
抗えないよ...



でも次が待ち遠しい...

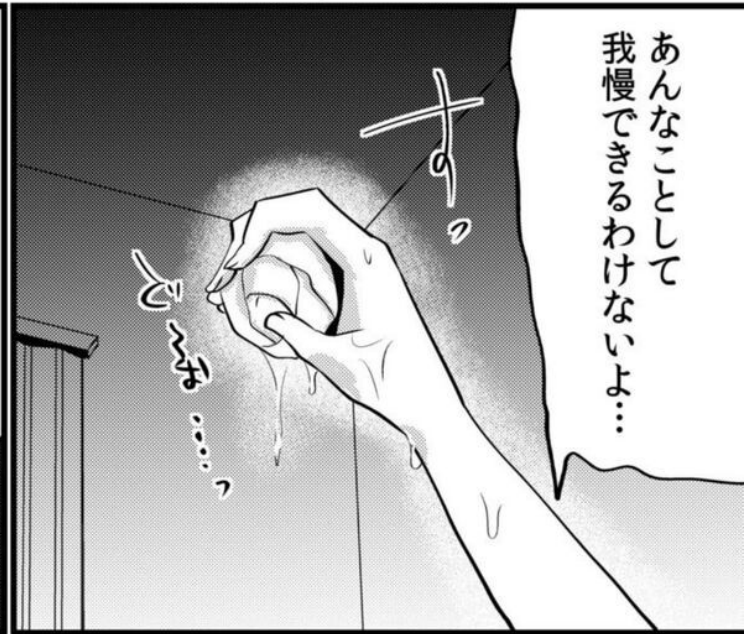


うっ...
俺はなにを
やってるんだ...!





ふふふ…
まさかこんなことにな
るなんて…



あんなこととして
我慢できるわけないよ…



早くあしたに
ならないかな



次が
待ち遠しいなあ…



入院中の僕のアレを彼女がアシスト？ ～きょうもいっぱい出ましたねえ～(1)

著者 まあタン
レーベル アシオナNEXT

- ★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
 - ★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
-